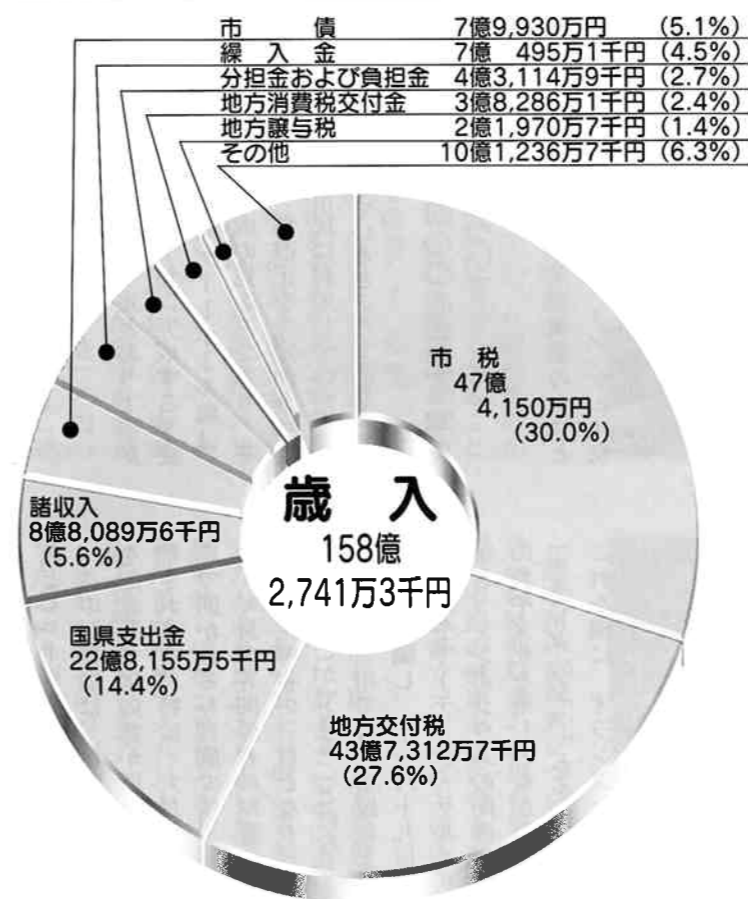


市の家計簿を紹介します

決算

平成十一年度の一般会計と特別会計および水道事業会計の決算がまとまりましたのでお知らせします。決算は、昨年度一年間の市のお金の使いみちを示すものです。
 一般会計の決算額は、歳入総額百五十八億二千七百四十一万三千円(対前年度比九・〇%増)、歳出総額百五十四億五千五百六十六万六千円(対前年度比九・三%増)となりました。
 歳入歳出差し引き額は三億七千六百八十九万七千円、このうち六千三百七十四千円を平成十一年度(繰り越した事業に充てるため、実質収支は三億一千三百七十二万三千円)の黒字となりました。

このような収入がありました



歳入 県支出金が53.4%増

歳入では、県支出金が図書館建設に係る電源立地促進対策交付金などの増により前年度に比べて53.4%増加しました。また、地方交付税が8.5%、市税が1.8%それぞれ増加しました。

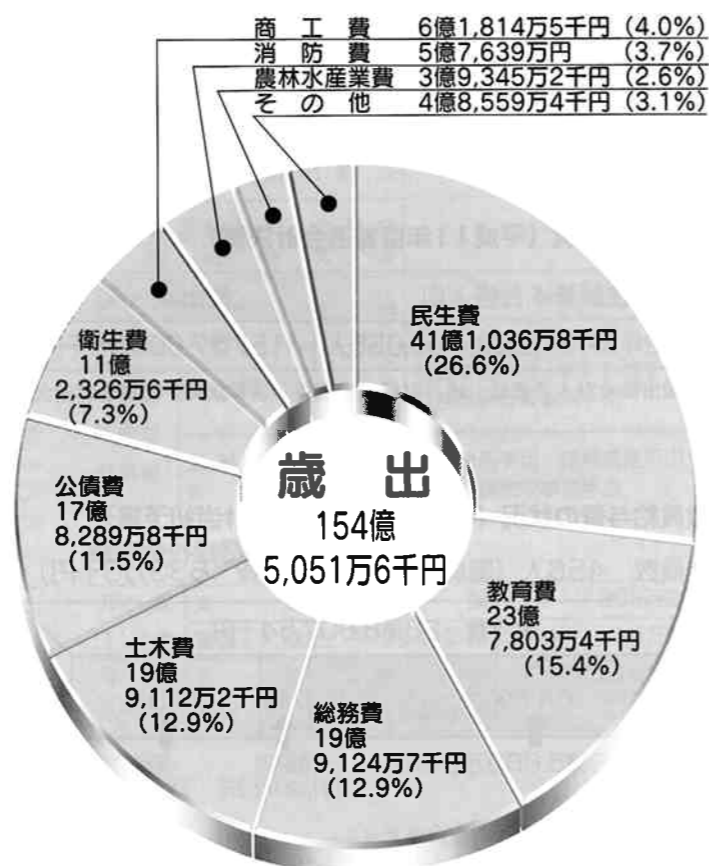
市債は、かやま保育園建設事業の借入れの減や地方特例交付金の創設等に伴う減税補てん債の減などにより、15.7%減少しました。

【市民一人あたりに使ったお金 308,979円 (283,591円)】

議会費 3,487円 (3,292円)	総務費 39,821円 (43,943円)	民生費 82,199円 (74,964円)
衛生費 22,463円 (23,727円)	労働費 1,011円 (1,018円)	農林水産業費 7,868円 (9,972円)
商工費 12,362円 (11,845円)	土木費 39,818円 (48,969円)	消防費 11,527円 (10,995円)
教育費 47,556円 (24,952円)	公債費 35,654円 (29,125円)	地域振興費交付事業費ほか 5,213円 (789円)

(注) 平成11年度末の住民基本台帳人口を用いています。
 () 内は、平成10年度決算の数値です。

このように使いました



歳出 教育費が91.2%増

歳出では、教育費が前年度と比べて91.2%増加しました。これは、主に図書館建設事業などを行ったことによるものです。

一方、農村総合整備事業および施設園芸産地育成事業補助金などの減により、農林水産業費が20.8%減少しました。

【主な建設事業(職員の人件費を除く)】

二葉保育園改修工事	1,774万5千円
デイサービスセンター改修工事	1,180万2千円
農村総合整備事業	6,843万2千円
農村自然環境整備事業	3,119万7千円
駅前通商店街環境整備事業	2,401万9千円
一般市道・街路・橋梁の整備事業	7億5,008万9千円
雨水排水対策事業	8,945万円
河川防災ステーション建設事業	2,656万5千円
中央公民館改修工事	3,706万5千円
図書館建設事業	11億1,124万4千円

特別会計

区分	金額
----	----

◎国民健康保険特別会計

歳入	29億9,330万2千円
歳出	28億1,205万7千円
差引	1億8,124万5千円

◎老人保健特別会計

歳入	38億1,930万3千円
歳出	38億2,759万5千円
差引	△829万2千円

◎北部工業団地終末処理施設管理特別会計

歳入	2,318万7千円
歳出	1,728万7千円
差引	590万0千円

◎公共下水道事業特別会計

歳入	20億7,385万5千円
歳出	20億5,242万4千円
差引	2,143万1千円

◎地域下水道特別会計

歳入	1億9,484万6千円
歳出	1億8,882万8千円
差引	601万8千円

◎土地取得事業特別会計

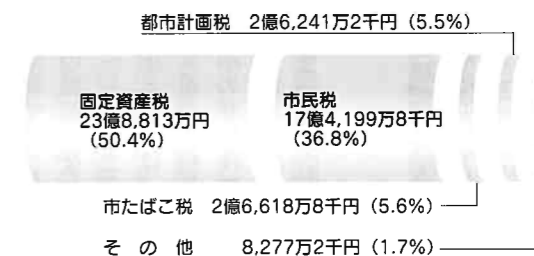
歳入	1億9,485万5千円
歳出	1億9,485万5千円
差引	0円

(注) △は、マイナス(減)の符号で赤字決算を示します。

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収支	11億4,885万8千円	10億5,601万円
資本的収支	4億2,089万8千円	7億253万1千円

【市税の内訳】 合計 47億4,150万円



【都市計画税の使いみち】

区分	決算額
都市計画事業費	街路事業 2億17万9千円
	下水道事業 4,820万1千円
都市計画事業に係る市債償還金	6,567万1千円
合計	3億1,405万1千円
財源内訳	都市計画税 2億6,241万2千円
	国庫支出金 4,367万7千円
	地方債 3,650万円
一般財源	△2,853万8千円
合計	3億1,405万1千円